

詩の学習

教科書
P16～P17
P102～P105
P178～,P179
P204～,P206

3年組 番氏名()

p 204	p 178	p 102	p 16, 17	頁
わたしを束ねないで	初恋	挨拶 一原爆の写真によせて一	春に	題名
新川和江	島崎藤村	石垣りん	谷川俊太郎	作者
口語自由詩	文語定型詩 (七五調)	口語自由詩	口語自由詩	用語と形式
六連	四連	七連	一連	構成
<p>擬人法 (大地が胸を焦がす) 体言止め (各連の四・六行目末 稲穂 羽撃き 音 海 水)</p> <p>直喩 (各連の二・三行目 あらせいとうの花のように)</p> <p>隠喩 (各連の四・六行目 わたしは稲穂 羽撃きなど)</p>	<p>隠喩 (恋の盃)</p>	<p>体言止め (ひとつ、ないもの、今日の顔、さがすとき、朝) 呼びかけ (友よ) 省略法 (朝の顔を)</p>	<p>対句 (よろこびだ しかしかなしみでもある いらだちだ しかもやすらぎがある) 反復 (この気持ちはなんだろう) 押韻 (なんだろう、くしたい・くみたい)</p>	技法

()